

「サントリー環境目標2030」 水の啓発に関する目標を引き上げ

- 2030年までにグローバルで500万人へ展開 —
- 東京都との環境保全活動に関する包括連携協定の一環で
自然体験型プログラムを初開催 —



(左)「森と水の学校(奥大山校)」の様子 (右)ベトナムでの「水育」の様子
この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリーグループは、「サントリー環境目標2030」のうち水の啓発に関して、2030年までの展開目標人数を当初の100万人から500万人へと引き上げます。すでに100万人については、2023年末に達成しており、新しい目標の達成に向けては、日本に加え、ベトナムの小学校へのさらなる展開拡大などアジアを中心とした活動強化に取り組む予定です。

当グループは、水の啓発として、次世代環境教育「水育^{みずいく}」をはじめとする啓発活動や、海外を中心とした安全な水を提供するための活動^{※1}など、さまざまな取り組みをグローバルに推進してきました。

特に2004年に開始し今年20周年を迎えた「水育」は、国内では教育コンテンツとしての内容深化やエリア拡大、オンラインコンテンツの開発など着実な活動拡大を進めてきました。12月1日(日)には、東京都と連動しての自然体験型プログラム「水を育む森づくりを学ぼう!～植樹体験&水のワークショップ～」を「サントリー 天然水の森 とうきょう檜原」他で実施するなど、新たな取り組みにも積極的に挑戦しています。本イベントは、サントリーホールディングス(株)と

東京都が5月に締結した環境保全活動に関する包括連携協定の一環で実現したものです。

※1 ベトナム・タイ他で実施している衛生的な水へのアクセスが十分でない地域を支援する活動

海外においては、教育訓練省^{※2}との協定を締結したベトナムをはじめ、展開国を拡大し活動を加速させてきました。10-11月には、タイの小学生やベトナムの教育訓練省の方々が来日し、それぞれ日本の「水育」を体験いただくなど、「水育」の活動も多様化しています。

※2 ベトナム国内の教育全般にかかる政策立案、教育課程基準の策定などを担う行政機関

サントリーグループは、自然と水の恵みに生かされる企業として、「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす。」をパーパスとし、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。

自然界における水の健全な循環への貢献、すなわち「水のサステナビリティ」に関しては、人々の生命や生活を支えるうえで貴重な資源であり、サントリーグループの企業活動の源泉である水を守り育むため、私たちはグループ環境基本方針の最上位に「水のサステナビリティの実現」を掲げています。グループ全体で共有する「水理念」のもと、自然環境の保全・再生活動など、さまざまな取り組みをグローバルに推進しています。国内では、工場における節水活動に加え、国内工場で汲み上げる地下水量の2倍以上の水を涵養する「サントリー 天然水の森」活動を通じて「ウォーター・ポジティブ^{※3}」を実現。海外でも、事業を展開する世界各地で水源涵養をはじめとする活動を展開しています。

なお「サントリー 天然水の森」は今年、林野庁主催「森林×ACTチャレンジ2024」において優秀賞を、東京都主催「Tokyo-NbS アクションアワード～自然とともに、未来をつくる～」の第1回表彰において、優秀賞を受賞しました。またこれらの「水のサステナビリティ」活動に対して、今年度内閣官房水循環政策本部事務局が創設した「水循環企業登録・認証制度」においてサントリーホールディングス（株）が「水循環ACTIVE企業」に認証されています。

※3 サントリーグループでは、取水量以上の水を水系に育むことを「ウォーター・ポジティブ」と考えています

当グループは今後も、「水のサステナビリティ」を事業活動における最も重要な課題と認識し、次世代啓発も含めた未来へ水を引き継ぐ活動にグループ一丸となって取り組み、サステナビリティ経営を推進していきます。

- 今回改定する「サントリー環境目標2030」（水の啓発・安全な水の提供）について

〈改定前〉

水に関する啓発プログラムに加えて、安全な水の提供にも取り組み、合わせて
100万人以上に展開。

〈改定後〉

水に関する啓発プログラムに加えて、安全な水の提供にも取り組み、合わせて
500万人以上に展開。

- サントリーグループの水の啓発に関する主な取り組み

- 2004年 「森と水の学校」阿蘇校（熊本県）開校
- 2005年 同 白州校（山梨県）開校
- 2006年 「出張授業」開始
- 2008年 「森と水の学校」奥大山校（鳥取県）開校
- 2014年 「サントリー環境ビジョン2050」策定
- 2015年 ベトナムで「水育」開始（海外での「水育」開始）
- 2019年 タイで「水育」開始
- 2020年 国内「水育」オンラインコンテンツの開発
フランスで「水育」開始
- 2021年 中国で「水育」開始
- 2022年 スペインで「水育」開始
ベトナムの教育訓練省と包括的な協力協定を締結
- 2023年 「森と水の学校」北アルプス校（長野県）開校
英国・ニュージーランドで「水育」開始
- 2024年 東京都と環境保全活動に関する包括連携協定を締結
「サントリー天然水」ブランドによる
“次世代ウォーター・ポジティブプロジェクト”開始
「水育」20周年特別企画「大人の『水育』体験」限定開催

- ▼サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/>

- ▼サントリーグループの2030年目標

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/targets/>

▼サントリーグループの「水資源」

https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_water/

▼サントリー「水育」ホームページ

<https://suntory.jp/MIZU-IKU/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。